

■エコノミー側溝の荷重による使い分けについて

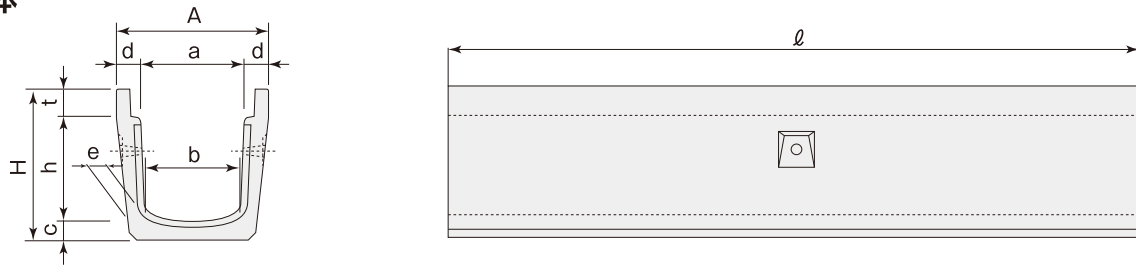
エコノミー側溝の設計荷重は、基本的にJIS A 5372-2004 (※) の考え方に準拠している。

※使用状態性能 (使用時に想定される常時の荷重に対しての安全性能) と、終局状態性能 (終局時に想定される荷重に対して、破壊しない性能) を満足する製品性能を有する。

名称 (本体)	用途 (設計荷重) による区分		名称 (蓋)
E-Lタイプ	主として歩道に設置するもの	群集荷重 Q=5KN/m ²	I 型 (フラットタイプ)
E-Mタイプ	車輛(後輪一輪 27.5KN以下)が隣接して走行することはまれで、走行することがあっても一時待避などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置するもの	輪荷重 T-14相当※	II 型 (マウントアップタイプ)
E-Hタイプ	車輛(後輪一輪 49.1KN以下)が隣接して走行することはまれで、走行することがあっても一時待避などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置するもの	輪荷重 T-25相当	I 型 (フラットタイプ) II 型 (マウントアップタイプ)

※設計荷重において T - 14 荷重は存在しないが、T - 25 荷重の計算方法を基に算出した。

■本体

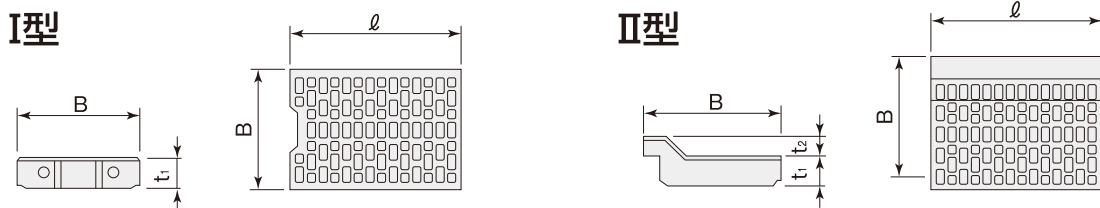


呼び名	寸法 (mm)										参考重量 (kg)		
	A	a	H	h	b	c	d	e	t	l	E-Lタイプ	E-Mタイプ	E-Hタイプ
※ 250×250	390	250	385	250	230	55	70	50	80	1998	263	265	268
300×300	440	300	435	300	276	55	70	50	80	1998	292	294	297
※ 400	440	300	540	400	268	60	70	55	80	1998	376	382	388
※ 500	440	300	645	500	260	65	70	60	80	1998	453	460	469
※ 400×400	540	400	555	400	368	65	70	60	90	1998	444	450	458
※ 500	540	400	660	500	360	70	70	65	90	1998	529	536	544
※ 600	540	400	765	600	352	75	70	70	90	1998	615	627	634

※2本体スレ防止のため、インサートプレート接合することも可能です。

※取扱い製品

■蓋



呼び名	寸法 (mm)				参考重量 (kg)	
	B	t ₁	t ₂	l		
I 型	※ 250用	304	86	—	496	31
	300用	354	86	—	496	36
	※ 400用	454	96	—	496	51
II 型	※ 250用	345	86	50	496	35
	300用	397	86	50	496	40
	※ 400用	495	96	50	496	56

※ II 型出入口用すり付タイプもあります。

※取扱い製品